

がみのあま

市議会だより

第 227 号 令和 5 年 11 月 1 日発行

— 9 月定例会 —



つぎは、私の番かな？

間近にせまったみなみ保育園の運動会。

園庭で、お兄さんやお姉さんたちが練習している間、小さな園児たちはお友だちや先生と虫とりや砂遊びをしながら、楽しく練習の順番を待っていました。

題字：みなみ保育園 ゆり組 あきもと 秋元 か りん 架凜さん

審議日程

9月4日(水)	本会議 〔会期日程の決定、市長提出議案の提案理由説明、特別委員会（予算・決算）の設置、議案の付託等〕
10日(日)	本会議〔一般質問〕
12日(火)	予算特別委員会〔補正予算の審査〕
13日(水) 14日(木)	常任委員会〔付託議案の審査〕
15日(金) 19日(火)	決算特別委員会 〔令和4年度各会計決算の審査〕
25日(月)	本会議 〔各委員長の審査結果報告、採決〕

第535回定例会は、9月4日から9月25日までの会期で開かれました。

2日の本会議では、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行うとともに、議案18件が上程され、各委員会に付託したほか、人事案1件に同意しました。

9月10日の本会議は、サンデー議会として開催され、11人の議員が一般質問を行い、市長並びに教育長に所信を質しました。

最終日の本会議では、付託議案の審査結果について、各委員長から報告の後、市長提出の議案18件を原案のとおり可決・認定し閉会しました。

審議された議案とその結果

第535回定例会市長提出議案

議案番号	件名	結果	参照
議第34号	令和4年度上山市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	11ページ
議第35号 ～40号	令和4年度上山市国民健康保険特別会計ほか5特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	11ページ
議第41号	令和4年度上山市水道事業会計決算の認定について	認定	11ページ
議第42号	令和4年度上山市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決 認定	11ページ
議第43号	令和5年度上山市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	10ページ
議第44号	令和5年度上山市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	10ページ
議第45号	上山市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9ページ
議第46号	上山市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9ページ
議第47号	上山市財産区管理会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9ページ
議第48号	上山市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9ページ
議第49号	上山市水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9ページ
議第50号	上山市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9ページ

議第51号	財産の無償譲渡について	原案可決	9ページ
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	3ページ

第534回臨時会市長提出議案

議案番号	件名	結果	参照
議第33号	令和5年度上山市産業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	14ページ

人事

同意した人事案件

人権擁護委員候補者の推薦

〔任期 令和6年1月1日から3年間〕

鈴木 木 井 木 土

木 上 口 屋

祐 康 子 講

二（蔵） 洋（牧） 子（長清水1） （河崎）

（敬称略）

上山市選挙管理委員

板垣 郁子（美咲町）

山口 忠右衛門（小倉）

渡邊 修三（久保手）

渡邊 昇（上生居）

同補充員

吉川 佳和（中山第1）

小玉 清子（赤山）

高橋 より子（矢来2）

木村 正人（矢来3）

〔任期 令和5年10月1日から4年間〕

選挙

（敬称略）

市政に対する一般質問



一般質問の動画はこちらのQRコードからご覧いただけます

本市主体で通学時等の 子どもの命を守る取組



谷江正照 議員

本市では、児童生徒の安全安心のため、警察と学校が連携し、地域から協力を得て「こども110番連絡所」に取り組んでいます。

こども110番連絡所は、子どもが単独事故や交通事故に遭遇した場合や、知らない人からの声かけ、付きまといなど犯罪等の被害に遭い、または遭いそうになって助けを求めてきた子どもを保護し、警察への通報等を行うものです。この取組に、新たに昨今増加している熱中症や急な体調不良、けが等の救急通報のほか、児童生徒が困った際に、保護者や学校をはじめとした関係各所に連絡を円滑に行うことや、手引書などが必要と考えます。

そこで、子どもの緊急時の立ち寄り拠点として、本市の公共施設や民間施設を活用し、通学時等の子どもの命を守る取組を行うべきと考えますが、教育長のご所見を伺います。



こども110番連絡所に掲出される標識

教育長 子どもの安全を確保するため、日頃から各地区の見守り隊やスクールガード・リーダー、警察署などと連携を図りながら、地域総ぐるみで支援いただいていると認識しております。

子どもの緊急時の立ち寄り拠点としては、警察署が関係団体と連携して設置している「こども110番連絡所」があります。今後新たに市内の公共施設を加えていただくことで、その目的や取組の充実を図ってまいります。

学校では、これらの拠点や活用について子どもたちに指導するとともに、教育委員会としましては、関係機関との連携を図り、より多くの市民からの見守り等の協力が得られるよう周知してまいります。

併せて、学校と保護者や地域との連携をなお一層大切にし、地域総ぐるみで子どもたちの安全確保に努めてまいります。

市政に対する一般質問



一般質問の動画はこちらのQRコードからご覧いただけます

帯状疱疹ワクチンの啓発と接種費用の助成



尾形 みち子 議員

帯状疱疹の特徴は皮膚に赤い発疹が現れ、体の左右どちらかの神経に沿って痛みを伴う水ぶくれが帯状に多数生じるもので、顔面神経麻痺、難聴、めまいなど重い後遺症が残る場合もあります。

そこで、市民に対し予防啓発とワクチン接種や、免疫力をあげるための情報を市報やホームページなどで広報すべきと考えます。また、帯状疱疹はワクチンの接種で、症状の緩和や治癒までの期間を短縮する効果があるとされていますが、生ワクチンは約1万円、不活化ワクチンは約5万円と接種費用が高額です。そこで、費用の半額程度を助成すべきと考えますが、市長のご所見を伺います。

市長 予防啓発については実施いたします。ワクチン接種費に対する助成は、国の定期接種化の検討が進め

られていることから、その動向を注視し、また、市内医療機関に対する調査により、実態把握等を行い判断してまいります。

市民プール廃止で代替案はあるのか

市民プールは、廃止決定に伴い今夏は営業しておりませんでしたが、この夏は例年以上の猛暑で、プールの開放の要望が多く寄せられました。そこで、令和6年度以降、学校プールを市民プールとして利用すべきと考えますが、教育長のご所見を伺います。

教育長 夏のプール体験の機会は必要と考えております。令和6年度以降の市民プールの代替は学校プール施設の活用を予定しており、修繕、運営体制など準備を進めております。



平成26年の市民プールの様子

本市の教育の充実と教職員の働き方改革



長澤 長右衛門 議員

本市では、令和6年度から中川小学校2・3年生が複式学級に移行する見込みです。そこで、旧西郷第一小学校に6年間設置された複式学級の課題や少人数学級の良さを踏まえ、中川小学校の複式学級に週2日教育支援員を配置すべきと考えますが、教育長のご所見を伺います。

教育長 複式学級では、担任が2つの学年の児童を指導するため、一人ひとりの学びを丁寧にする高度な指導力が一層求められます。そのため、複式学級への移行が見込まれる学校では、学校運営における課題解決や担任の指導力向上を目的に、現在複式学級を設置している近隣の学校を訪問し、各種研修を行い、教職員や保護者の不安の軽減を図りたいと考えております。支援員の配置については、様々な視点から調査し、総合的に判断してまいります。

クマ出没に対する特別チーム編成と支援

県内では昨年6月の市街地におけるクマの目撃件数が65件あり、警報発令基準の50回を大幅に上回ったため、初めてクマ出没警報が発令されました。令和5年4月以降もクマが住宅地等で人に危害を加える事案が多発していることから、近隣市では地元猟友会の協力を得て、猟銃による駆除などに即応可能な特別チームを編成しています。本市においても特別チームの編成が急務と考えますが、市長のご所見を伺います。

市長 本市ではクマが出没した場合、市と警察、猟友会が連携を図り速やかに花火等での追払いや市民への注意喚起、場合によっては猟銃での駆除を行っているため、現時点で特別チームを編成する考えはありません。



クマ出没の注意を促す看板

市政に対する一般質問



一般質問の動画はこちらのQRコードからご覧いただけます

軽自動車規格の救急車両の導入



棚井 裕一 議員

本市には城下町のまちなみや景観が数多く残されており、傾斜地や入り組んだ地形に狭い道路や住宅が数多く存在しています。そのため、地区会から傷病や災害に際して、積雪時にも迅速に対応できる軽自動車の救急車導入の要望が出されています。軽自動車規格の救急車両を先行導入している自治体では、道路の狭い地域での迅速な救急対応が実現されております。

そこで、本市においても軽自動車規格の救急車両を導入して、住民の安心と信頼をより一層高めるべきと考えますが、市長のご所見を伺います。

市長 地区会長会からの要望も踏まえ調査した結果、本市の救急機能の強化に有効であると判断し、令和6年度に軽自動車規格の救急車両を導入してまいります。

消防体制の強化

近年、救急車両の出動件数が増加していますが、現在の出動体制は、消防職員の健康面にも配慮したものになっているのでしょうか。

増員や勤務体制の見直し等で職場環境の改善を図り、消防職員が安心して勤務でき、市民がより安心できる消防体制の充実と強化に努めるべきと考えますが、市長のご所見を伺います。

市長 救急需要の増加や市民ニーズは多様化しています。これからも現有する消防力及び消防組織を持つて対応する考えですが、職員の健康面にも配慮し、より働きやすい職場環境をつくりながら、市民の安全・安心のための消防体制の強化に努めてまいります。



山岳事故を想定した訓練の様子

带状疱疹ワクチンの普及啓発と助成



川口 宏美 議員

带状疱疹は、50歳以上の日本人のほぼ全員が潜在的にウイルスを保有しており、自己免疫のバランスが崩れると、誰もが発症するリスクを持っています。50歳を過ぎると発症率は急上昇し、80歳までに3人に1人が発症し、後遺症や合併症を引き起こします。带状疱疹ワクチンを接種することで発症を抑制できますが、ワクチンは高額であることが課題です。そこで、带状疱疹の実態把握とワクチンの普及啓発、接種費の助成制度を本市独自に導入すべきと考えますが、市長のご所見を伺います。

市長 普及啓発については感染症予防における全般的な普及啓発に含めて行います。接種費助成は国で定期接種化の検討が進められていることから、その動向を注視するとともに、市内医療機関に対して実態把握等を行いながら対応判断してまいります。

HPVワクチンの接種率向上と助成

HPVワクチン（子宮頸癌ワクチン）接種は、千種類にも及ぶがんの中で、唯一がんを防ぎ死亡率を抑制できますが、全国的に接種率は低く、本市も同様の傾向です。また、男性がHPVワクチンを接種することで、咽頭癌等や異性間でのHPV感染も予防できます。HPVワクチン接種の重要性を正しく理解するため、本市独自の取組を早急に行うとともに、男性の接種助成も行うべきと考えますが、市長のご所見を伺います。

市長 接種率向上のため未接種者に対する効果的な啓発方法を調査研究してまいります。男性のHPVワクチン接種助成は国の動向を注視し専門家の見解も伺い調査・研究してまいります。



HPVワクチンの正しい理解と接種率向上を

市政に対する一般質問



一般質問の動画はこちらのQRコードからご覧いただけます

地区公民館へWi-Fi環境の整備を



川崎 朋巳 議員

本市ではDX推進計画を策定しており、市民にもインターネットやスマートフォンが広く普及しておりますが、Wi-Fi環境を公民館に整備することで、事業による利活用、行政事務の効率化やインターネットアクセスの提供による市民サービスの向上が期待できます。

また、避難所としても活用される地区公民館へのWi-Fiの設置は、災害情報の提供や発信、避難者の情報収集、職員による速やかな情報収集や関係機関との連携など、災害時に大きなメリットが想定されますが、教育長のご所見を伺います。

教育長 Wi-Fi環境の整備は生涯学習環境の充実と市民の情報リテラシーの向上につながることから、設置にむけた調査をすすめております。また、地区公民館は災害時における指定避難所であり、災害時にも

用であることから令和6年度に整備してまいります。

生涯学習センター駐車場の整備を

生涯学習センターは市内外から多くの利用がありますが、未舗装の駐車場は大きく波打つなど、安全性が懸念されます。また、この施設はドクターヘリの着陸ポイントにも指定されていることから、利用者の利便性向上と安全確保のため、早急に整備すべきと考えますが教育長のご所見を伺います。

教育長 早急に部分的な舗装工事を行い、利用者の安全を確保してまいります。

このほか、体育文化センター駐車場についても質問しました。



各地区公民館にWi-Fiの整備を

歴史まちづくり法の活用



小松 正和 議員

上山城周辺や榎下宿には、多くの歴史的な建造物をはじめ伝承芸能等の文化も残っており、これらを活かし景観行政を推進することが、観光客の増加等に繋がるものと考えます。その方法として歴史まちづくり法の活用を提案します。この法律は、歴史的建造物や伝承芸能などと人々の活動が一体となって環境を作っていると捉えており、これを維持・向上させ後世に継承していくことを目的としています。

本市が目指す歴史・文化を活かした景観保全等行う様々な施策に、この法律を活用すべきと考えますが、市長のご所見を伺います。

市長 有効な手法の一つであると認識しておりますが、良好な景観の維持・向上を図るためには地域住民の思いや主体的な活動の高まりも重要であり、これまで以上のご理解とご

協力が必要となります。引き続き地域住民等と協議を重ねながら活用に対して調査・研究してまいります。

景観アドバイザーの導入

エリアの特色を活かしたまちづくりや景観行政を推進するためには、景観やまちづくりの専門家、地元の建築家等、景観整備の推進を図る上で方向性を示しながらアドバイザーで必要であると考えます。そこで、その推進役となるアドバイザーを導入すべきと考えますが、市長のご所見を伺います。

市長 本市の特色を活かした景観保全等を行うには、専門家からの指導・助言やまちづくりへの関わりは有効と考えますので、そうした機会を増やす取組を進めてまいります。



歴史的なまちなみが残る武家屋敷通り

市政に対する一般質問



一般質問の動画はこちらのQRコードからご覧いただけます



枝 松 直 樹 議員

移住者政策としての 新規就農受入体制の整備

大江町では、この10年間で17名が研修を終えて新規就農し、家族を含め60名が県外から移住しており、就農した方は全員定着しています。これは、OS-INの会という、10人の受入農家の組織が新規就農者への指導などを行ってきた大きな成果です。本市でも、新規就農希望者を受け入れる農家を支援するOS-INの会のような受入農家の組織化を目指すべきと考えます。

また、女性就農者の活躍推進について、他自治体の事例からも女性の就農は農業の活性化につながることから、女性の就農に力点をおいた情報発信や施策展開を進めるべきと考えます。

さらに、新規就農者向け住宅の確保について、高知県梶原町には、空き家を所有者から無償で10年間定期借家し、国等の補助を受け町で改築した上で、公的賃貸住宅として移住

者に貸す仕組みがあります。所有者は10年間の町との契約期間満了後、返却された住宅で賃貸事業をすることもできます。これは、入居者も空き家所有者も町も得をする「三方よし」の仕組みですので、本市でも導入すべきと考えます。

以上3点について、市長のご所見を伺います。

市長 今後、農業の将来の在り方についての話し合いを持つ予定ですので、受入農家の組織化や支援の制度化についても議論してまいります。

女性就農者の活躍推進については、女性農業者が力を発揮していけるようにすることが重要であることから、女性をはじめとする多様な担い手が就農につながるよう引き続き支援してまいります。

移住者の住宅の確保については、さらなる支援策について調査・研究してまいります。



地域を元気づける若者の就農

一人暮らし高齢者への エアコン設置等の助成



守 岡 等 議員

今年は異常な猛暑の中、熱中症による救急搬送が増えています。特に高齢者が多く、熱中症による死亡者のうち8割がエアコンを使っておらず、そのうち2割がエアコンが設置されていなかったという調査結果が出ています。そこで一人暮らしの高齢者の状況把握を行い、エアコン設置などへの助成を行うべきと考えますが、市長のご所見を伺います。

市長 エアコン設置助成については、生活保護受給世帯においても助成基準が限定的であることから、一人暮らしの高齢者世帯に助成を拡大する考えは持っております。

特定健診等へのピロリ菌 検査の導入

胃がん発症の大きな要因がピロリ

菌感染であると言われています。ピロリ菌を除菌すれば胃がんの発症リスクを抑えられることから、ピロリ菌感染胃炎に対する除菌治療が保険認可されました。しかし感染しても無症状であることが多いため、放置したまま胃がんを発症することもあるようです。そこで、特定健診などにピロリ菌検査を導入し、胃がんのリスクを減らす取組を行う自治体が増えています。本市でも特定健診等にピロリ菌検査を導入し、陽性者に除菌治療を勧めるなど胃がんのリスクを減らす取組を行うべきと考えますが、市長のご所見を伺います。

市長 国立がん研究センターの見解では、ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査の単独実施について、現時点では胃がん死亡率の減少効果は不明であるとし、実施を推奨していないことから、20・39健診、特定健診に導入する考えは持っておりません。



エアコンは生活必需品です

市政に対する一般質問



一般質問の動画はこちらのQRコードからご覧いただけます

コミュニティラジオ放送局の開設



佐藤 昇 議員

本市に地元の情報を伝えるコミュニティラジオがあれば、全国的に災害が増える中、情報を的確に放送することができ、市内各地の風雨の状況はもとより、避難所などの情報も伝えることができます。

また、市民のためのラジオとして行政情報、イベントのお知らせのほか、商店街の話題や市民の様々な活動などの身近な話題を放送すれば、市民はラジオをつけていれば耳から情報を得ることができ、市民の上山に対する愛着をより深められるものと考えます。

市長 本市では行政のみならず市民もSNSを通じて積極的に情報を発信・共有できる仕組みづくりに取り

子どもたちを猛暑から守る対策を

組んでいるのでラジオ局を開設する考えは持っております。

今夏は記録的な猛暑が続いており、子ども達を暑さから守る対策が必要です。そこで、小・中学校の音楽室や美術室などの特別教室に冷房設備の設置を進めるとともに、登下校時には強い日差しから子ども達を守る日傘の使用を推奨すべきと考えますが、教育長のご所見を伺います。

教育長 電気設備の関係から普通教室エアカン設置を優先してまいりましたが、特別教室への設置については計画的に進めます。また、日傘利用についても子ども達や保護者に周知し、引き続き熱中症対策に万全を期してまいります。



通学時における日傘利用の様子

小中学校での生活設計や租税教育の強化を



木村 泰之 議員

お金を通した生活設計等の教育は「金融教育」と呼ばれ、その意義は主に、「お金を通して、人生を自ら考え行動する力を身に付けられる」、「お金を通して、社会との関係を自覚する力を身に付けられる」の二つとされています。

また、金融教育と併せて「租税教育」も行つことで、社会に出れば様々な税負担があることなども知ること、家計管理や将来の人生設計等の理解を深めることができます。

人生において、お金は極めて重要であり、一生付き合うものです。お金の正しい知識や判断力を身に付けることが、人生を深く考え、ひいては、生きていく知恵になります。

解し、将来の悩みを軽減できる教育が必要で、他の教科よりも大切な面もあります。

現在、一定の金融教育等がなされてはおりますが、不足しています。教員の働き方改革に配慮しつつ、小中学校におけるお金を通した生活設計・租税教育の強化に取り組むべきと考えますが、教育長のご所見を伺います。

教育長 金融教育は令和4年度から、高等学校で義務化された背景からも、その必要性が増していることは認識しております。現行の小中学校の学習指導要領でも、社会科や家庭科の授業において取り扱うこととしており、児童生徒の発達の段階を考慮しながら、他教科等においても、金融や税に関する内容を授業に取り入れ、工夫しながら実践しています。現在実施している金融や税に関する学習を引き続き実践してまいります。



国が作成した金融・租税教育に活用できる資料

会 員 委 任 常 任

総務文教

電気自動車等の定義拡大により急速充電設備の運用基準を整備

委員会では付託された議案3件について審査しました。

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正により、新型コロナ感染症の発生及びまん延の初期段階でも職員の派遣要請ができるよう整備されたことに伴い、「新型インフルエンザ等緊急事態派遣手

当」を「特定新型インフルエンザ等対策派遣手当」に改めるとともに、手当の対象となる職員の身分取扱いの引用条項を改めるほか、技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例について、本条例と同様に災害派遣手当の名称を改めるものです。

火災予防条例の一部改正

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の改正に伴い、急速充電設備の充電対象を「自動車等」から「自動車、原動機付自転車、船舶、航空機その他これらに類するもの」に改めるほか、急速充電設備の全出力の上限200

キロワットを撤廃するものです。また、健康増進法の改正に伴い、同法に規定する喫煙専用室標識が設置されている場合は、本条例の標識の設置を必要としないこととするとともに、禁煙、火気厳禁及び喫煙所の標識と併せて設ける図記号について、国際標準化機構が定めた規格又は日本産業規格に適合するものに改めるほか、文言及び字句の整理を行うものです。

財産の無償譲渡

過去に永野地区の学校用地として寄附を受けた土地について、同地区会の管理で利活用を図るため無償譲渡するものです。

以上、議案3件は原案のとおり可

産業厚生

スマートフォンを利用して印鑑登録証明が申請可能に

委員会では、付託された議案4件について審査しました。

印鑑条例の一部改正

マイナンバーカードに加え、スマートフォンに搭載された利用者証明用電子証明書を利用した印鑑

登録証明書の申請が可能になるよう必要な改正を行うものです。

財産区管理条例の一部改正

中山県行造林財産区が県との分収造林契約を終了したことに伴い、組織名称を中山財産区に変更するものです。

下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

農業集落排水事業及び浄化槽事業に地方公営企業法の財務規定等を適用するものです。

水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正と同様に、新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部改正に伴う必要な改正を行うものです。

以上、議案4件は原案のとおり可決しました。

そのほか、宮川2地区農業集落排水処理施設機械設備更新工事等の現地調査と所管する事務の調査を行いました。

決しました。

そのほか、財産の無償譲渡に係る現地調査と所管する事務の調査を行いました。



市道西山通り線側溝改良工事を調査



永野地区会に無償譲渡される土地を調査

予算特別委員会

低所得世帯等の灯油購入費等助成金を増額

委員会では、付託された議案2件について審査しました。

一般会計補正予算（第3号）

13億8800万円を追加し、予算の総額を184億7400万円とするものです。

補正の主なもの

- ・ふるさと納税寄附金の返礼品送付等に要する経費の増額
- ・原油価格・物価高騰に伴う低所得世帯等生活支援策として、当初予算に計上した灯油購入費等の助成額に1世帯あたり5000円を上乗せして助成するための扶助費の増額
- ・市民の健康情報を管理する基幹情報システムを国が定める標準仕様に改修するための調査に係る委託料
- ・新型コロナウイルスワクチン接種に向けた委託料等の増額
- ・凍霜害等の自然災害等に備えるため、収入保険制度に新規加入する農業者・農業生産法人に対し、保険料の一部を上限額3万円まで支援する補助金
- ・南小学校の水道揚水ポンプの更新に要する経費
- ・「山形ワイヴァンズ市民応援デー」開催に係る負担金

介護保険特別会計補正予算（第1号）

5500万円を追加し、予算の総額を42億7700万円とするものです。

以上、議案2件は、原案のとおり可決しました。

質疑

委員会の審査の際に行われた質疑の主なものは、次のとおりです。

一般会計

委員 10月1日よりふるさと納税の経費に関する基準等の適用が厳格化されるが、本市への影響は。

観光・ブランド推進課長 10月から11月頃までは寄附額に多少の影響はあると思いますが、その後は従来どおり持ち直すと想定しています。

委員 新型コロナウイルスワクチン接種事業について、ワクチン接種後の副反応が問題になっているが、市として状況把握を行っているか。

健康推進課長 市として医療機関から報告は受けていませんが、令和3年は4件あったと伺っています。

委員 収入保険新規加入奨励事業費補助金について、対象者を何名見込んでいるか。

農林夢づくり課長 対象者は、124名と見込んでおります。

より情報

近隣市町に足を運んでみてはいかがでしょうか。

中山町

中山町初市
日時 令和6年1月14日（日）午前10時30分～
場所 ひまわり温泉ゆ・ら・ら前（中山町いすみ）
内容 商売繁盛を願う江戸時代から続く伝統行事「初市」
問合せ 中山町観光協会事務局
TEL（662）2114

山形市

やまがた舞子と花小路秋まつり
日時 令和5年11月11日（土）～12日（日）
午前10時～午後5時
場所 旧千歳館（山形市七日町）
内容 やまがた舞子演舞披露、お座敷遊び体験、舞子さんカフェ（コーヒー・シフォンケーキのセット販売）、やまがた舞子との記念撮影、クイズラリー、展示、動画上映ほか
その他 旧千歳館ライトアップ（11月3日から12日までの午後5時～9時）、ただし、入館はできません。
花小路スタンプラリー（11月3日から30日まで、花小路振興会加盟店を巡りスタンプを集めると、花小路の飲食店で利用可能な金券が当たる抽選に応募できます）
問合せ 山形市観光戦略課観光コンテンツ係
TEL（641）1212 内線420

蔵王樹氷まつり

日時 令和5年12月23日（土）～
令和6年2月25日（日）
場所 蔵王温泉スキー場内
内容 樹氷のライトアップ、ナイトクルーザーで行く樹氷鑑賞ツアー等
問合せ 山形市観光戦略課回遊推進係
TEL（641）1212 内線424

決算特別委員会

各会計の決算状況

会計別	歳入（収入）	歳出（支出）	差 引
一 般 会 計	192 億 9115 万 402 円	177 億 9894 万 7093 円	14 億 9220 万 3309 円
国民健康保険特別会計	35 億 8274 万 4373 円	35 億 2198 万 8124 円	6075 万 6249 円
農業集落排水事業特別会計	2 億 4937 万 2440 円	2 億 4587 万 1978 円	350 万 462 円
介護保険特別会計	39 億 8470 万 9004 円	38 億 2650 万 7980 円	1 億 5820 万 1024 円
浄化槽事業特別会計	1867 万 258 円	1766 万 2787 円	100 万 7471 円
後期高齢者医療特別会計	4 億 4817 万 832 円	4 億 4690 万 9048 円	126 万 1784 円
産業団地整備事業特別会計	1757 万 4057 円	1757 万 4057 円	0 円
計	275 億 9239 万 1366 円	258 億 7546 万 1067 円	17 億 1693 万 299 円
水道事業会計	収益的	7 億 8885 万 1967 円	7 億 3174 万 3138 円
	資本的	1 億 745 万 7574 円	3 億 1165 万 5116 円 △ 2 億 419 万 7542 円
下水道事業会計	収益的	10 億 2996 万 3826 円	9 億 6643 万 1385 円
	資本的	4 億 105 万 284 円	7 億 2832 万 85 円 △ 3 億 2726 万 9801 円

令和4年度の一般会計、各特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計の各歳入歳出決算の認定について慎重に審査を行い、9議案全てを可決・認定しました。

各会計の決算状況は表のとおりです。

9会計を認定

※水道事業会計の不足分は、過年度分の損益勘定留保資金から補てん

※下水道事業会計の不足分は、過年度分及び当年度分の損益勘定留保資金から補てん

地方債（市の借金）

区 分	令和4年度末残高
一 般 会 計	134 億 3198 万 4 千円
農業集落排水事業特別会計	8 億 9323 万 8 千円
浄化槽事業特別会計	6271 万 2 千円
産業団地整備事業特別会計	1 億 1482 万 0 千円
水 道 事 業 会 計	16 億 1823 万 6 千円
下 水 道 事 業 会 計	61 億 1288 万 4 千円
計	222 億 3387 万 4 千円

市民1人当たり約7万8千2百円（対前年度比4万7千7百円の減）

積立基金（市の貯金）

区 分	令和4年度末残高
財 政 調 整 基 金	16 億 1009 万 8 千円
国民健康保険基金	10 億 6142 万 9 千円
減 債 基 金	1 億 7818 万 5 千円
長寿社会福祉基金	154 万 5 千円
ふるさと水と土保全対策基金	87 万 6 千円
ふるさと文化基金	10 万 9 千円
介護給付費準備基金	4 億 6823 万 5 千円
企業立地促進基金	9650 万 4 千円
ふるさと納税基金	6 億 8338 万 4 千円
公共施設等保全整備基金	6 億 530 万 6 千円
森林環境譲与税基金	1511 万 3 千円
新型コロナウイルス感染症対策金融支援基金	4979 万 6 千円
計	47 億 7058 万 0 千円

市民1人当たり約1万6千8百円（対前年度比2千円の減）

※人口は令和5年3月31日の2万8419人

市の貯金である積立基金の残高は約47億7千万円で、前年度より約1億5千万円の減となっています。市の借金である地方債の残高は約222億3千万円で、前年度より約17億1千万円の減となっています。

市民1人当たりで計算すると貯金が約16万8千円で前年度より約2千円の減、借金は約78万2千円で前年度より約4万7千円の減となっています。

監査委員の審査意見

一般会計は、歳入歳出差引額で黒字決算となった。

歳入歳出ともに前年度より増加しており、歳入は、ふるさと納税等の寄附金や繰入金等で増加し、歳出は、ふるさと納税寄附金の増加に伴うふるさと納税推進事業の総務費や商工費等で増加している。

市税は、収入額、収入率ともに前年度を上回った。引き続き、効率的な滞納整理の実施と未収金の発生防止に努められたい。また、ふるさと納税については、今後も本市の魅力発信しながら推進されたい。市債の年度末現在高は、5年連続で減少している。今後も計画的な管理に努められたい。

特別会計は、6会計で、国民健康保険特別会計では、保険給付費は増加した。引き続き市民の健康づくりを支援し、医療費抑制に努められたい。介護保険特別会計では、居宅介護サービス等の減少により、保険給付費は減少した。今後も効果的な介護予防事業の実施に努められたい。

水道事業会計は、当年度純利益はプラスとなった。業務状況は、年間有収水量は減少したが、有収率は上昇した。水道ビジョンの実施により、安全・強靱・持続的な水道事業となるよう経営の強化に努められたい。

下水道事業会計は、当年度純利益はプラスとなったが、営業損益はマイナスとなった。建設投資など将来の収支バランスを予測し、効率的かつ健全な経営に努められたい。

決算特別委員会

質疑

委員会の審査の際に行われた質疑の主なものは、次のとおりです。

一般会計

委員 令和3年度は大口の滞納案件が複数あったが、現在も続いているのか。それは回収不能なのか。または回収の可能性はあるのか。

税務課長 令和3年度の大口滞納は完納した案件もあります。滞納が続いている案件も多くありますが、回収の可能性はあります。

委員 市税の収納率は大口滞納案件を除いても令和3年度を0・2ポイント下回っている。その要因は。

税務課長 固定資産税と都市計画税の伸びが鈍ったことによりです。円安や物価高騰等が影響していると思われる。

委員 ふるさと納税寄附金が令和4年度は約27億円と前年の約20億円に比べ大きく増加した要因は。

観光・ブランド推進課長 コロナ禍の果ごもり需要によるふるさと納税の拡大、新規ポータルサイトの通年



ふるさと納税の返礼品として人気の本市産ブドウ

稼働、サクランボが通常どおりに受付できたことが要因と考えています。

委員 予算の執行額が令和3年度に比べ増加しているのに対し、不用額が多くなっている要因は。

財政課長 補助事業など財源を伴うものについては減額補正することが多いのですが、この度は市単独事業等について、減額補正しなかったため不用額として計上されたものです。

委員 第7次振興計画の市職員のマネジメント浸透度が最終年度にもかかわらず57%台だが、効率的行政運営の面でも達成できていないのでは。

市政戦略課長 事業執行の際、振興計画を意識しているかを調査したもので、効率的運営を表す数字ではないと考えています。

委員 本市の歳入において、市税約37億円に対し、ふるさと納税寄附金は約27億円であり、大きな比率を占めている。今後この制度がなくなつた際の財政運営に懸念はないのか。

財政課長 現時点では、恒久的な制度ではないことを前提とした財政運営を行っております。

委員 県のA-（人工知能）を活用した結婚支援が成果をあげているが、本市の取組状況は。

福祉課長 本市としては、結婚サポートターによる一人ひとりに寄り添つた支援を行っていきたいと考えております。

委員 病児保育を利用する人が増えているが、利用定員を増やす予定は。

子ども子育て課長 利用者数の推移を見ながら判断していきたいと考えております。

委員 元クリーンセンター解体工事の事業費が約2億2000万円計上されているが、工事は何%終了したのか。また、近くにある高野荘の解体状況は。

市民生活課長 工事は、令和4年度末で52%まで進んでおり、高野荘は令和5年度に解体しています。

委員 がん検診のうち、胃がん検診のみ受診者が減っている要因は。

健康推進課長 新型コロナウイルス感染症による受診控え、過去の精密検査受診者の定期的な受診、職域のセット健診を受ける人が増えてきたことなどが原因と考えられます。

委員 市産木材の公共施設への利用及び活用への取組は。

農林夢づくり課長 市産木材の公共施設への利用はありませんでした。活用については、宮川中学校へ教材として材料提供等を行いました。引き続き活用を図ってまいります。

委員 榎下宿古民家管理費について、当初予算に対し決算額が大幅に増額されている理由は。



市指定有形文化財の榎下宿「山田屋」

決算特別委員会



市民公園の様子

生涯学習課長 雪害による「山田屋」の屋根の復旧工事を行ったためです。

委員 産業振興アドバイザーの活用について、令和4年度の実績と成果は。

商工課長 市内企業の技術を生かした製品開発に関し、定期的に助言をいただきました。8社へ訪問を行い、6社が試作品開発に取り組みました。

委員 新規事業オウンドメディアを踏まえて、どのように本市の観光を売り込んだのか。

観光・ブランド推進課長 コロナ禍で先行きが見えない中、栃木県や東北6県のタウン誌をはじめ、より効果が期待される媒体での広告掲載等を行いました。

委員 ファサード改修事業について、補助の上限額が下がったが取組の実績と成果は。

建設課長 改修面積に応じた補助割合に変更したことで補助額は減少しましたが、令和4年度は4件の実績がありました。引き続きまちなみの景観づくりを支援してまいります。

委員 みちづくりサポート事業について、12団体からの申請に対し、11団体を採択しているが、不採択となった理由は。

建設課長 小倉地区の水路工事については、当該事業ではなく道路整備事業で施工すべきと判断したもので、実質全ての申請に対応しました。

委員 耐震診断の実施状況及び市民への周知はどうなっているか。

建設課長 耐震診断については3件実施しました。市報や商工会が配布する住宅支援制度のリーフレットに記載し周知を図っております。

委員 市民の公園満足度が低い、今後どのように取り組むのか。

建設課長 子育ての場、交流の場、防災の拠点など、公園の持つ多様な機能を踏まえ、地区会や利用者の意見を取り入れながら、公園整備に取り組んでまいります。

委員 老朽化している市営住宅の住み替え状況は。

建設課長 令和4年度は3件の民間住宅への住み替えがありました。令和5年度も3件の相談をいただき、うち2件について具体化に向けて進めています。

委員 消防団員確保の取組と現状はどうなっているか。

消防長 確保の面では広報誌の全戸配布のほか、消防団協力事業所表示制度や消防団サポート事業の推進を図ってきました。団員の現状としては充足率が91%となっており、引き続き団員の確保に努めてまいります。

委員 英語教育について、小学校と中学校のギャップを少なくする手段は。

教育長 英会話を含めグローバル社会における英語教育のあり方や読解力の必要性を含め研究しています。

委員 運動が好きな市民の割合が低く、コロナ禍の影響などから予算の不用額も多く発生した。今後どのように取り組んでいくのか。

生涯学習課長 新型コロナが5類に移行し、スポーツに触れる機会が増加しており、それらを通じて運動への意識の向上を図ってまいります。

委員 ジュニアリーダーあすなるの新規登録者数が11名に増加した理由と内訳は。

生涯学習課長 12年ぶりに再開した海の子山の子交歓会の開催に伴い、広く呼びかけを行ったところ応募がありました。内訳は、上山明新館高校の生徒と市内在住の高校生です。

国民健康保険特別会計

委員 国民健康保険基金が10億円を超えているが、どう活用するのか。

健康推進課長 国民健康保険特別会計の単年度収支が赤字になっており、今後国民健康保険への加入者も減少することから、国民健康保険税の税率を引き上げないために基金を活用していきたいと考えます。



消防団のポンプ操作訓練の様子

決算特別委員会

農業集落排水事業特別会計

委員 宮川 2 処理施設の耐用年数は 15 年だったが、11 年程度で不具合が生じた。原因と更新後の対応策は。

上下水道課長 原因の詳細は不明ですが、今後は維持管理適正化計画を策定し、引き続き保守点検等努めてまいります。

介護保険特別会計

委員 社会福祉協議会の訪問介護事業における、本市の利用状況と人員不足等の対応は。

健康推進課長 令和 5 年 7 月末で訪問入浴サービスは、利用者減少により廃止しています。訪問介護におけるヘルパーの高齢化や、なり手不足など課題はあると認識しています。

委員 認知症初期集中支援チームの業務内容と実績は。

健康推進課長 認知症の専門知識とケア経験を持つチーム員が相談を受け、訪問し適切な医療・介護ケアへとつなげる業務で、令和 4 年度は 11 件支援をしています。

第 534 回臨時会

かみのやま温泉インター 産業団地の拡張整備に 向け予算措置

第 534 回臨時会が 7 月 7 日に開かれ、予算案 1 件を原案のとおり可決しました。

産業団地整備事業特別会計補正予算（第 1 号）

4 億 8450 万円を追加し、予算の総額を 4 億 8550 万円とするものです。

補正の主なもの
・産業団地の整備に伴う施設設計等の業務委託料及び用地取得に係る公有財産購入費

健全化判断比率・資金不足比率

9 月 4 日開催の全員協議会で、健全化判断比率と資金不足比率について報告されました。

健全化判断比率は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の 4 つの指標であり、このうち、いずれか 1 つでも早期健全化基準以上となった場合、財政健全化計画を策定し、議会の議決を受けることが義務づけられ、毎年度計画の実施状況を議会に報告し、公表することが必要となります。

また、将来負担比率を除く 3 つの指標値のいずれか 1 つでも財政再生基準以上となった場合、財政再生計画を策定し、財政健全化計画と同様の手続きが必要となるとともに、財政再生計画が総務大臣の同意を得られない場合、地方債の借り入れが制限されます。

資金不足比率は、公営企業において、経営健全化基準以上となった場合、経営健全化計画の策定が義務づけられ、議会の議決を経て、県や国に報告することになります。

健全化判断比率

実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、一般会計のほか全ての会計で赤字は発生しなかったため、比率は出ませんでした。

資金不足比率

上山市の全ての公営企業において、資金不足額は生じませんでした。

実質公債費比率については、6・4％で、令和 3 年度と比較して 0・4 ポイント改善しました。将来負担比率については、36・0％で、令和 3 年度と比較して 7・9 ポイント改善しました。

■ 健全化判断比率

	令和 3 年度	令和 4 年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	13.65 %	20.00 %
連結実質赤字比率	—	—	18.65 %	30.00 %
実質公債費比率	6.8 %	6.4 %	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	43.9 %	36.0 %	350.0 %	

“上山市を元気にする”政策提言

8月30日に、将来を見据えた活力あるまちづくりを目指すため、議会の総意として市長に政策提言を行い、令和6年度の予算編成や市政運営の施策として検討されるよう要望しました。

なお、提言の内容は次のとおりです。

- 1 第8次上山市振興計画について
支援を行うこと。
 - (1) 第7次上山市振興計画後期基本計画及び第2期上山市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事務事業を総括するとともに、第8次上山市振興計画の策定にあたっては、事務事業に総意と工夫を凝らし、個性と魅力あふれる市として発展するよう努めること。
- 2 行財政改革の推進について
 - (1) 事業の進捗状況等について検証を行うなど、事務事業の整理点検に取り組み、無駄のない行政運営に努めるとともに、ICT等先端技術を積極的に活用するなど、市民サービスの向上を図ること。
- 3 脱炭素の取組の推進について
 - (1) 再生可能エネルギーの普及拡大への取組を一層強化するとともに、市民や市内の事業者が実施する脱炭素に向けた取組への
- 4 子育て支援策の拡充について
 - (1) 子育てや教育費用の負担増とならないよう、給食費の値上げ据え置きを継続するとともに、子育て支援をさらに強化するため学校給食費を無償化すること。
- 5 農林業振興について
 - (1) 農業の後継者不足や担い手不足を解消し、耕作放棄地の増加を未然に防止するため、担い手等の経営支援はもとより、中小・家族経営など多様な担い手への支援について国への働きかけを行うとともに、市も積極的に支援を行うこと。
 - (2) 市産材の利用拡大を図るため、公共施設適正化計画に沿って整備される市有施設に市産材を活用するとともに、民間での利活用が一層図られるよう支援を行うこと。
- 6 観光振興について
 - (1) コロナ禍の経済的な影響から脱却を図る取組を支援するため、観光キャンペーン等による誘客活動を継続・強化するとともに本市の歴史的建造物・街道などを含めた観光関連施設の整備やプロモーション活動を充実し、ブランド力及び市全体の発信力の強化に取り組むこと。
 - (2) 本市の観光資源を活用した旅行商品の開発や充実強化を支援するとともに、クアオルトを生かした滞在型観光を視野に入れた商品開発を進めること。
 - (3) 本市の多様な商品開発につなげるため、観光施設を周遊できる2次交通の充実強化に努めること。
- 7 かみのやま温泉駅周辺整備について
 - (1) 駅東側の整備にあたっては、駅東口利用者の利便性の向上のみならず、西口・東口それぞれの整備の効果が相乗的に広がるものとなるようにすること。
- 8 小・中学校の教育環境の整備について
 - (1) 部活動の地域移行を確実に進めるうえで、生徒の多様な参加機会やニーズに可能な限り対応
- 9 上下水道事業に係るインフラ整備について
 - (1) 水の安定供給や生活環境等を保全するため、上下水道の老朽管の更新を着実に進めること。
 - (2) 高齢化や人口減少がより顕著な市の周辺集落の小規模水道施設を維持保全するため、集落ごとに管理している施設の老朽化にともなう修繕等への支援を拡充すること。
- 10 上下水道事業に係るインフラ整備について
 - (1) 水の安定供給や生活環境等を保全するため、上下水道の老朽管の更新を着実に進めること。
 - (2) 高齢化や人口減少がより顕著な市の周辺集落の小規模水道施設を維持保全するため、集落ごとに管理している施設の老朽化にともなう修繕等への支援を拡充すること。
- 11 上下水道事業に係るインフラ整備について
 - (1) 水の安定供給や生活環境等を保全するため、上下水道の老朽管の更新を着実に進めること。
 - (2) 高齢化や人口減少がより顕著な市の周辺集落の小規模水道施設を維持保全するため、集落ごとに管理している施設の老朽化にともなう修繕等への支援を拡充すること。



山本市長に政策提言書を提出

で活発な意見交換

上山市議会は、7月24日から28日までの日程で、市内10力所で議会報告会を開催し、合計187名の方から参加いただきました。

議会改革の一環として始まったこの取組ですが、コロナ禍のため2年間の中止を経て、昨年より復活し今年には9回目の報告会を開催しました。議員が直接地域に出向き市民と対話することを通じて、市民との信頼関係を築き、議会の機能を高めることを目的にしています。

この度、市民の皆様からいただいた多くの要望や意見は、市長への政策提言や今後の議員活動に反映させていただきます。

報告会では、3月定例会で提案された新年度事業の主なものを報告した後、議会として市政全般について質疑応答や意見交換を行いました。議会に対する厳しいご意見や市政に対する建設的な提言など各会場とも活発な意見交換がなされました。

特に、少子化高齢化に伴う将来に対する不安、かみのやま温泉駅東西開発、公共交通対策などへの意見が多く出されました。

また、「配布資料が分かりにくい」との従来からあったご意見は少なくなりましたが、課題となる若者や女性の参加が増えるような工夫を凝らしながら、次回に向けさらに改善の検討を行います。

以下、感謝の意を含め主な項目を報告します。

議会報告への主な質疑

問 スクールバスについて、今現在利用している地区と今後は。

答 西郷、宮川、中山、中川地区で利用しており令和5年度は宮川小のスクールバスを更新します。

問 高齢者に関する新事業や拡充したものはないのか。

答 高齢者等免許自主返納支援事業が令和5年度に1万円から2万円に拡充されております。



問 高機能消防指令センターの予算がかなり多いが、どのような効果が得られるのか。

答 現在のシステムを構成する装置が耐用年数を迎えることから、通報を受理できない等の不備がないよう、装置及びデジタル無線について、一括更新を行います。

問 農林業に関する予算が減っているように見受けられるが。

答 有害鳥獣対策のための補助事業や農地整備事業など、様々な事業に取り組んでおり、毎年、事業内容等に応じた予算・決算となっています。

問 駅周辺整備について、東西の具体的な違いと駅舎の整備予定は。

答 駅西は主に道路や公園の整備など、歩きたくなるまちづくりに力をいれ、駅東は住宅地や公園を中心に定住を促進する整備を予定しており、基本設計の段階です。駅舎は自由通路やトイレの改修を予定しています。

意見交換での主な意見

- ・福祉バスを2台にしてほしい。
- ・敬老の日の記念品予算に関して対象年齢が引き上げられたが、一方的な通達で納得いかない。
- ・菖蒲地区内に2基ある警鐘台のうち1基のサイレンが故障した。地形的に2基必要であり、サイレン付拡声器で対応中だが再度要望したい。
- ・軽自動車の救急車を導入すべき。
- ・市民プールが老朽化により廃止されるが、どうにかならないか。
- ・クアオルトの毎日ウォーキングの参加者が少なくなっているが新たなアイデアが必要ではないか。

・少子化で、通学班を作れず児童が一人での登校となるのが今後考えられる。スクールバスの早期準備を考えていただきたい。

・駅のトイレが老朽化している。観光案内所の営業時間も短い。上手く運用してもらいたい。

・駅東口から西口通路の床が、雨や雪の日は滑る。また、点字ブロックや階段のへりが床と同じ色でみえにくく危険だ。見やすく黄色にするなど工夫して欲しい。

・上山にも小さな子どもが遊べるような遊具の設置をして欲しい。

・十日町では数年前から景観ガイドラインを作り、ファサード改修を進めているが、補助率が下げられたため、以前の補助率に戻すことを検討して欲しい。

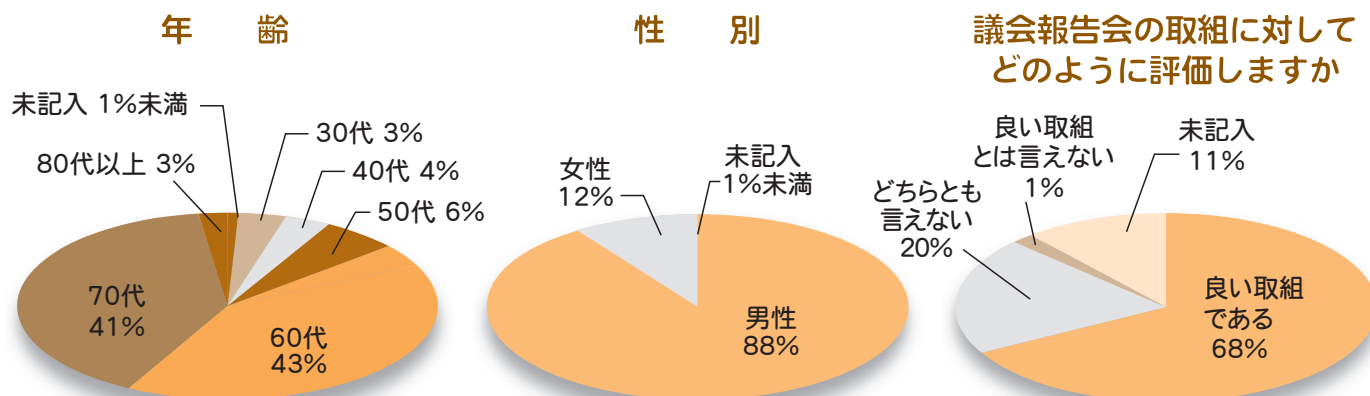


質疑の内容や意見等の詳細は、議会ホームページでご覧になれます。

議会報告会10会場

議会報告会アンケート集計結果

参加者187名中156名の方から回答をいただきました（回答率83.4%）



アンケートのご意見・感想

- ・行政側でなく議会の活動を知りたい、当地区の内容を知りたい。
- ・資料が報告会にそぐわない、詳細説明が欲しい。
- ・議員にはもっと勉強し将来を見据え、ビジョンを持って取り組んでもらいたい。
- ・質問に回答できるように事前準備をお願いします。
- ・市政が生活に直結していると実感、もっと関心を待つべきと感じた。
- ・市民のために頑張ってください、お疲れ様です。
- ・もっと人口が増える対策をとってもらいたい。
- ・大変いい取組、今後も続けて欲しい。
- ・議会報告として、具体的な部分が分からない。

年代別人数比較

（アンケート回答者のみ）（人）

年 代	令和4年度	令和5年度	増 減
20 代以下	0	0	0
30 代	7	4	-3
40 代	4	6	+2
50 代	11	9	-2
60 代	73	67	-6
70 代	38	64	+26
80 代以上	9	5	-4
未 記 入	1	1	0
合 計	143	156	+13

～ アンケート結果をふまえて ～

たくさんの方からアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

今回の議会報告会は改選期のため7月開催となり、準備期間も短くどれだけの皆様にご参加いただけるのか不安なスタートとなりました。

資料については概ねわかりやすいとの感想が多かったものの、行政側の代弁者に過ぎない、将来に対するビジョンを議会から示すべきなどの意見もありました。一方、厳しいご指摘だけでなく建設的な意見も数多くいただきました。

今後、より多くの参加者が得られ、多くの意見や要望を市政に反映できるよう議会活動に活かしてまいります。

トピックス



かみのやまの秋祭り

まだまだ暑さが残る中、秋晴れのもと、第45回ふるさと秋祭り「踊り山車」と「三社みこし行列」が行われました。

踊り山車は昼夜の二部制で、昼の部の花柳優梓社中、夜の部のやまがた舞子が駅前や温泉街で華麗な舞踊を披露し沿道の皆さんを魅了していました。

380年以上前から伝わる伝統行事三社みこし行列は、厳かに中心市街地を練り歩きました。また、上山藩鼓笛楽は、市指定無形民俗文化財となつて

50周年を迎えております。

祭りの前日には前夜の宴として、上山城にて鼓笛楽隊の篠笛奏者藤原雪さんを中心に、多方面で活躍されているアーティストによるコンサートが行われ、すばらしい演奏に聞き入りました。お祭りをとおして改めて上山の歴史・文化に触れるとてもよい機会となりました。市民の皆様も来年一緒に秋祭りを楽しみませんか。
(小松)

市議会を傍聴してみませんか

次の定例会は、12月4日から20日までの予定です。

○名前など書くだけで傍聴できます。

○ぜひ気軽に足を運んでください。

※詳しくは、議会事務局（☎672-1111内線251）までお問い合わせください。

編集後記

9月のサンデー議会では100人を超える多くの皆様から一般質問を傍聴いただきありがとうございました。

これまでコロナ禍により、議会傍聴に関してご不便をおかけいたしました。が、本年5月8日付けで新型コロナウイルスの法的措置が移り、議員からも積極的な傍聴の受け、議員からも積極的な傍聴の受けをさせていただきました。今後も新型コロナウイルスの感染防止に努めながら開かれた議会に向けた取組を進めてまいります。

また、市議会では事務軽減や議場のペーパーレス化を図るため、9月定例会から会議資料閲覧用のタブレット端末を導入しました。今後は導入後の検証を行いながら12月定例会に向け準備を進めてまいります。

編集委員会では議会活動や議論された内容をよりわかりやすくお伝えできるように編集に努めてまいりますので、引き続きのご愛読をよろしくお願いいたします。
(尾形)



サンデー議会を傍聴する皆さん